



# mdx II システム利用説明会

## 利用申請、サポート体制について

---

大阪大学 D3センター

情報推進部 情報基盤課 mdx II システム担当 向園 悠

## mdx II 利用申請全体の流れ

### ✓ 1. プロジェクトの新規利用申請

1-2営業日中に承認し、アカウント発行、メールで通知

### ✓ 2. お試し利用開始

アカウントが届き次第利用開始、2週間まで無料で利用可能

### ✓ 3. 利用資源（有償）申請

お試し利用期間中に、利用資源・期間を申請（有償）  
→ 1-2営業日中に承認し、利用料金メールで連絡、資源を付与

### ✓ 4. 利用料金の請求

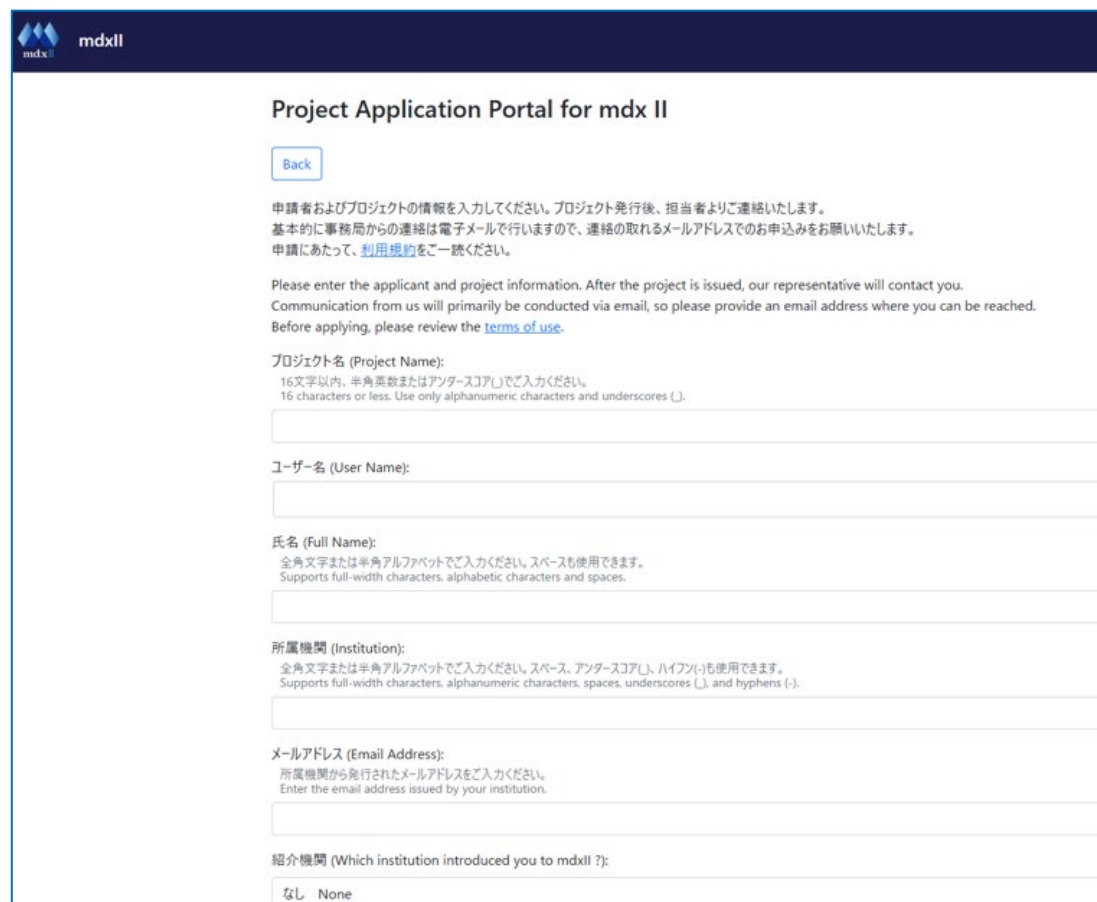
利用資源申請の翌月に請求

※学内の場合：部局の会計担当経由で請求 学外の場合：請求書郵送 or 電子メール送付

## 1. プロジェクトの新規利用申請（お試し利用付き）

✔ 学認アカウントをお持ちの場合

➤ [学認専用ポータルから申請](#)



Project Application Portal for mdx II

[Back](#)

申請者およびプロジェクトの情報を入力してください。プロジェクト発行後、担当者よりご連絡いたします。  
基本的に事務局からの連絡は電子メールで行いますので、連絡の取れるメールアドレスでのお申込みをお願いいたします。  
申請にあたって、[利用規約](#)をご一読ください。

Please enter the applicant and project information. After the project is issued, our representative will contact you.  
Communication from us will primarily be conducted via email, so please provide an email address where you can be reached.  
Before applying, please review the [terms of use](#).

プロジェクト名 (Project Name):  
16文字以内、半角英数またはアンダースコア( )でご入力ください。  
16 characters or less. Use only alphanumeric characters and underscores ( ).

ユーザー名 (User Name):

氏名 (Full Name):  
全角文字または半角アルファベットでご入力ください。スペースも使用できます。  
Supports full-width characters, alphabetic characters and spaces.

所属機関 (Institution):  
全角文字または半角アルファベットでご入力ください。スペース、アンダースコア( ), ハイフン(-)も使用できます。  
Supports full-width characters, alphanumeric characters, spaces, underscores ( ), and hyphens (-).

メールアドレス (Email Address):  
所属機関から発行されたメールアドレスをご入力ください。  
Enter the email address issued by your institution.

紹介機関 (Which institution introduced you to mdxII?):  
なし None

✔ 学認アカウントをお持ちでない場合

➤ [ローカルアカウント用ポータルから申請](#)



mdx II プロジェクト申請ポータル (学認の無い方向け)

本ページは学認アカウントを持っていない方向けの申請フォームです。  
学認アカウントを持っている方は、以下のページから申請してください。  
[https://project.osaka.mdx.jp/mdx\\_project](https://project.osaka.mdx.jp/mdx_project)

申請者およびプロジェクトの情報を入力してください。プロジェクト発行後、担当者よりご連絡いたします。  
基本的に事務局からの連絡は電子メールで行いますので、連絡の取れるメールアドレスでのお申込みをお願いいたします。  
申請にあたって、以下の[利用規約](#)をご一読ください。  
<https://mdx.jp/mdx2/p/terms>

このフォームを送信すると、名前やメールアドレスなどの詳細情報が自動的に収集されることはありません。ただし、お客様ご自身で入力する必要があります。  
\* 必須

申請者情報

- ユーザー名 / User Name (英字(大小), 数字, \_(アンダーバー), -(ハイフン)のみ可能) \*  
回答を入力してください
- プロジェクト名 / Project Name (英字(大小), 数字, \_(アンダーバー), -(ハイフン)のみ可能) \*  
16文字以内で入力してください
- 申請者氏名 / Full name \*  
回答を入力してください
- 所属機関 / Institution \*  
部局/部署名など、可能な限り細かく入力してください。  
回答を入力してください

## 2. お試し利用開始

✓プロジェクトを申請いただくことで、以下お試し利用資源をご利用可能  
(お試し利用は お一人様1回限り)

ノード種別	CPUコア数	メモリ	ストレージ	利用期間
通常計算ノード群 16CPUパック	16 仮想コア	32 GB	1 TB	2 週間

- お試し期間終了時に、プロジェクトおよびリソースを無効化・削除
- 継続利用希望の場合、**お試し利用期間中に有償資源を申請**
- 利用資源（有償）を申請しても、お試し利用期間中は無料
- お試し利用のみで終了の場合、手続き不要

## 3. 利用資源（有償）申請

### ✓ 利用する資源量を 利用資源 申請フォーム から申請

日本語

#### mdx II 利用資源 申請フォーム

このフォームを送信すると、名前やメールアドレスなどの詳細情報が自動的に収集されることはありません。ただし、お客様ご自身で入力する必要があります。  
\* 必須

#### 資源情報

3. 利用期間 \*

1ヶ月単位で申請可能です。申請月は日割り計算(月額料金の30分の1が1日分の利用料金)となります。  
端数(小数点以下)は当方で負担します。ご請求は切り捨て後の金額となります。  
年度を超えることはできません。

答えの選択

4. CPUバック

利用するCPUバック数を入力してください。1プロジェクトあたりの最小利用数は16 CPUバックからとなります。

整数を入力してください

5. GPUバック

利用するGPUバック数を入力してください。5GPUバック以上を希望される場合は [mdx2-system@cmc.osaka-u.ac.jp](mailto:mdx2-system@cmc.osaka-u.ac.jp) へご連絡ください。

答えの選択

6. ストレージ (TB)

CPUバックをご利用いただく際にストレージは必須となりますので、必ずセットでお申し込みいただきますようお願いいたします。

整数を入力してください

- 学認/ローカルアカウント共通
- 1ヶ月単位の申請が可能
- 利用開始月は日割り計算  
(終了日は月末固定)

## 4. 利用料金の請求

✓ 利用開始月は**日割り計算**となります。

日割り料金は、月額料金を30日で割り、利用日数を掛けて算出いたします。

(例：月額14,180円 (16CPUパック) で4月25日開始 → 2,836円「14,180 ÷ 30 × 6日分」)

4月							5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	申請	試用利用開始							1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
			9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24	22	終了	24	25	26	27	28
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31	29	30					

利用資源申請の翌月に請求

※学内の場合：部局の会計担当経由で請求 / 学外の場合：請求書郵送 or 電子メール送付

## mdx II 利用料金（すべて税込）

利用資源	1ヶ月あたりの 利用料金(税込)	備考
通常計算ノード群 1 CPUパック (1 仮想コア) 詳細は <a href="#">こちら</a> をご参照ください	¥ 830	– 最低申し込み数は 16 CPUパックから – 無料のお試し利用(2週間)もございます。詳細は <a href="#">こちら</a> をご参照ください。
GPUノード群 1 GPUパック (30 仮想コア) 詳細は <a href="#">こちら</a> をご参照ください	¥ 198,000	最低申し込み数は 1 GPUパックから
ストレージ 1 TB	¥ 900	
Lustre ストレージ 1 TB	¥ 900	
オブジェクトストレージ 1 TB	¥ 300	
フローティングIP (グローバルIP アドレス)	¥ 15,000	プロジェクトにつき、1つ目は無料 2つ目以降は有料

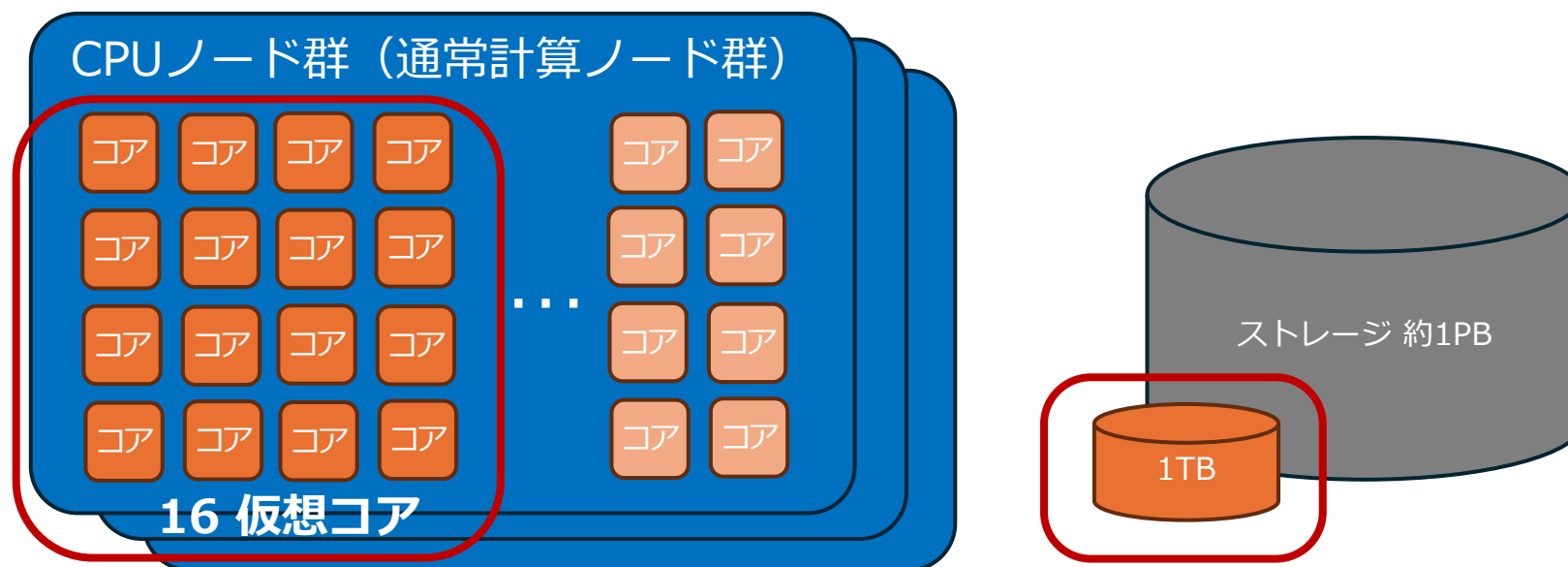
- 月単位の前払い制での提供
- 年度を超えた利用申請は不可
- CPUパックまたはGPUパックの申請が必須（ストレージのみでの利用は不可）

✓ 本講習会終了後 すぐに申請フォームからご利用申請いただいた場合

1-2業務日以内にアカウントを発行

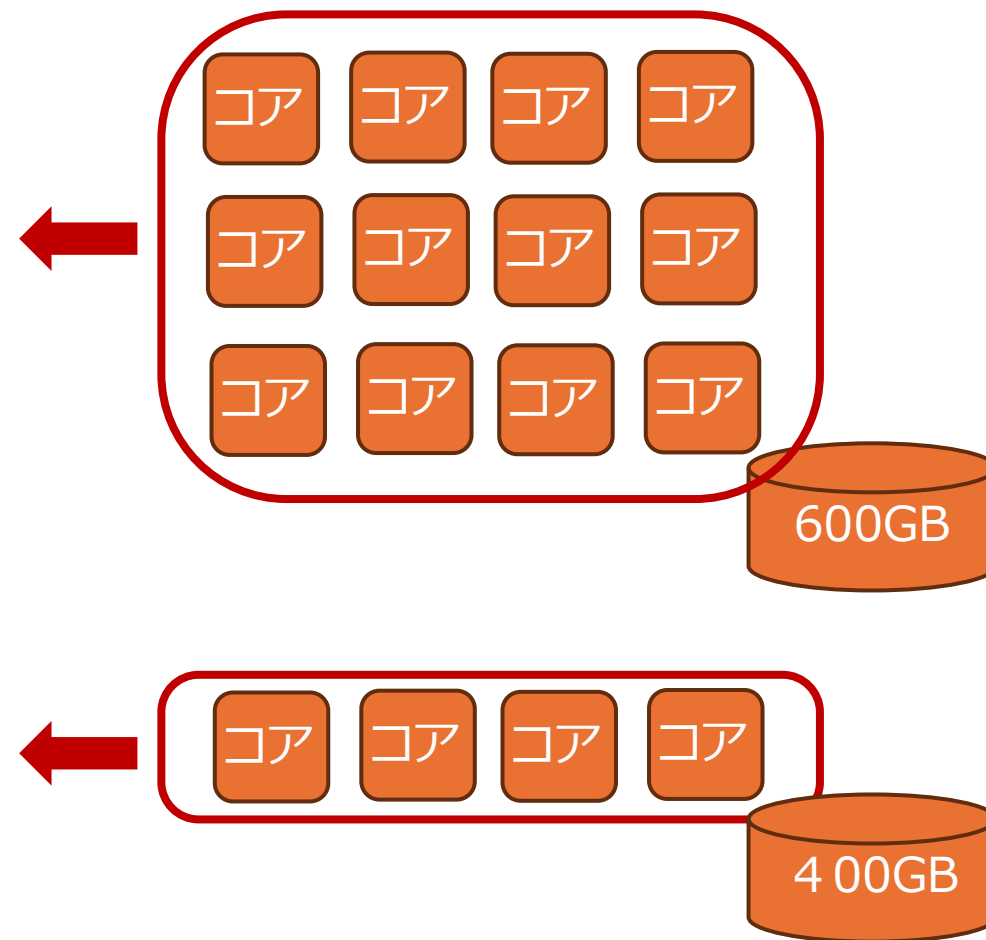
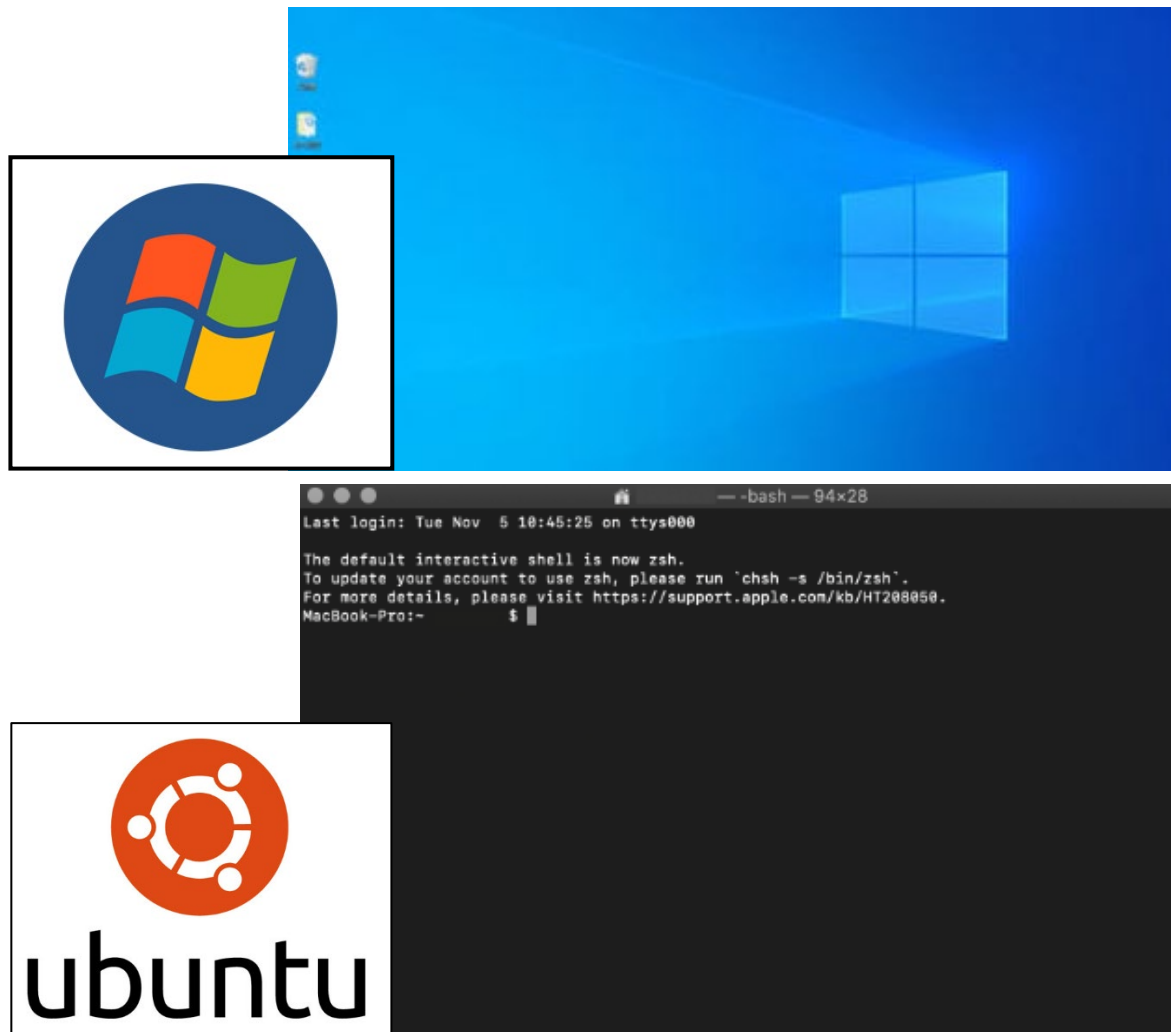
→16CPUパック(16仮想コア)と1TB をご利用いただけます

例) 10/22 (水) にアカウントが発行され、2週間後の11/5 (水) 頃までお試し利用



**お試し利用資源**

- ✓ ユーザポータルから仮想サーバを立ち上げてご利用いただけます  
16仮想コアのうち12コアでWindows、4コアでUbuntuといった使い方も可能です



※2週間の無料お試し期間中にご利用可否をご確認ください。

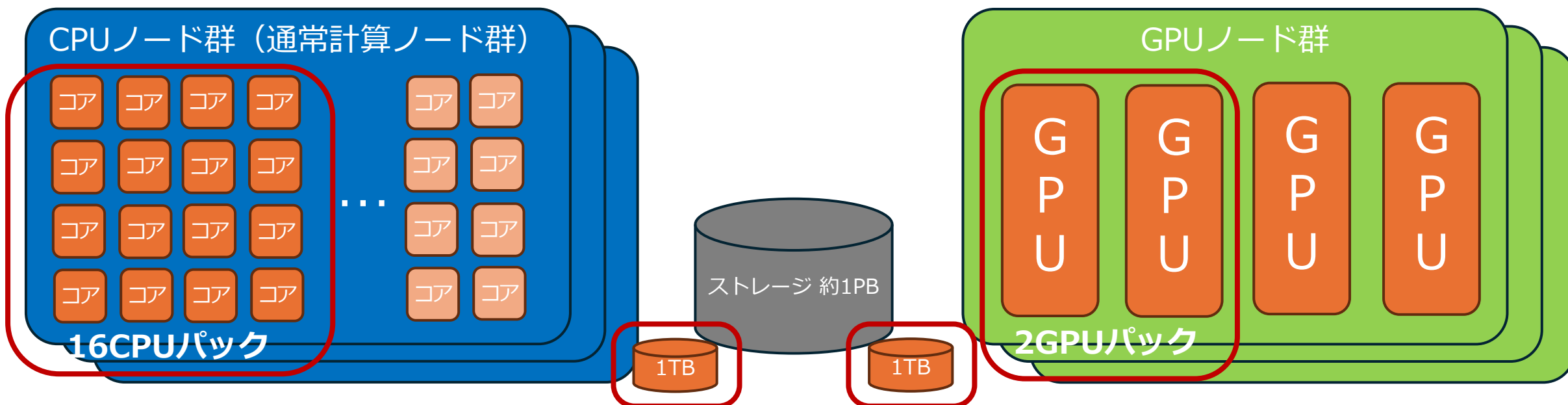
## 構成別（CPU/GPUパック）の利用料金イメージ

**お試し利用資源(16CPUパック+1TB)をそのままご利用される場合：月額14,180円**

内訳：1CPUパック（830円）× 16 + ストレージ1TB（900円）

**GPUノード(2GPUパック+1TB)をご利用される場合：月額396,900円**

内訳：1CPUパック（198,000円）× 2 + ストレージ1TB（900円）



例) 3ヶ月ご利用の場合は、以下のような利用料金となります。  
 利用料金合計：31,196円  
 2,836円(14,180 ÷ 30 × 6日分) + 28,360円(14,180 × 2ヶ月分)  
 ※利用開始月は、日割り料金となります。

例) 3ヶ月ご利用の場合は、以下のような利用料金となります。  
 利用料金合計：873,180円  
 79,380円(396,900 ÷ 30 × 6日分) + 793,800円(396,900 × 2ヶ月分)  
 ※利用開始月は、日割り料金となります。

## mdx II オンライン利用相談

✓ mdx II システムに関するご質問やご相談を、担当者に直接行うことができます。

- 対応者：  
D3センター教職員 + NECの担当者
- 実施方法：  
原則としてZoomで実施
- 予約方法：  
希望日の3営業日前までに[予約フォーム](#)から申請
- 開催時期：  
毎月複数日程を設定し、相談受付中



オンライン利用相談以外でも、  
気になることは、[お問い合わせフォーム](#)からご相談ください。

## mdx II 公式サイトコンテンツ

✓ mdx II システム の利用に関するコンテンツを公式サイトに公開しております。

### クイックスタートガイド

mdx II クイックスタート：仮想マシンを作ってみよう（CPUノード）

mdx2 > mdx II クイックスタート：仮想マシンを作ってみよう（CPUノード）

本ページでは mdxII で仮想マシンを作成する手順を解説します。  
こちらは「まず使ってみる」ことを目的とした簡易的なクイックスタートガイドです。詳しい操作や設定は「[mdxII 利用方法\(pdfマニュアル\)](#)」をご参照ください。  
本クイックスタートガイドでは、以下の手順で作業を進めます。

1. 仮想マシンにアクセスするための鍵を用意する
2. 仮想マシンの通信ルールを設定する
3. 仮想マシンを起動する

### 1. キーペアの登録

仮想マシンにSSHアクセスするには、「キーペア」と呼ばれる鍵のセットを使用して接続します。  
これは、パスワード認証よりも一般的に安全性の高い方法です。

キーペアとは、次の2つがセットになったものです。

- ・秘密鍵 (Private Key)：自分だけが保管する「鍵」
- ・公開鍵 (Public Key)：仮想マシンに置いておく「鍵穴」

この2つが一致することで、仮想マシンに接続することができます。

キーペアの登録方法には、以下の2通りがあります。

- ・事前に作成したSSH鍵の公開鍵をインポートして登録（推奨）
- ・ユーザーポータルから新規にキーペアを作成して登録

### mdx II上に専用のJupyter環境を作成する方法

#### 作成方法

以下、3つのステップで環境を作成します。mdxII ポータルにログインできない場合は、問い合わせフォームからご連絡ください。

- ステップ1. Jupyter環境へのアクセス設定 (mdxII ポータル上での操作)
- ステップ2. Jupyter環境を立ち上げる (mdxII ポータル上での操作)
- ステップ3. Jupyter環境にアクセスする (ご自身のパソコンでの操作)

#### ステップ1. Jupyter環境へのアクセス設定 (mdxII ポータル上での操作)

ステップ1の目標：mdxIIのセキュリティグループ機能を使って、自分自身のパソコンからJupyter環境にアクセスできるように設定します。



今後も順次コンテンツを拡充予定です。利用マニュアルと併せて、ぜひ[mdx II 公式サイト](#)もご参照くださ

## 利用説明会・講習会の開催

利用支援の一環として、以下のような説明会や講習会を定期的に行なっています

### 利用説明会



- mdx IIシステムの概要・特徴・利用方法・申請手続きについて紹介

### 講習会

- mdx IIシステムを用いた研究活動や開発環境構築を検討中の方におすすめ
- 実際にインスタンスを立ち上げての実演あり
- mdx IIを活用したサーバー構築や研究環境の構成例をご紹介

## mdx II利用をご検討の皆さまへ

- ✓ mdx IIシステムの申請手順・利用料金・講習会情報など、最新情報は下記公式HPにて確認できます。

mdx II公式HP (<https://mdx.jp/mdx2>)

### 【参考リンク】

- 👉 [利用申請から利用開始までの流れ](#)
- 👉 [利用料金・規約](#)
- 👉 [利用方法](#)
- 👉 [オンライン利用相談](#)



mdx II ホームページのQRコード